

議会だより あまぎ

平成 30 年
6 月定例会

平成 30 年 7 月 25 日
第 108 号



第 9 回チャレンジ KIDS 大会

一般質問	P 2
第 61 回奄美群島市町村議会議員大会	P 8
平成 30 年度所管事務調査	P 9
平成 30 年 6 月定例会／編集後記	P 12



第 31 回トライアスロン大会 IN 徳之島大



大吉皓一郎
議員

活力ある町政運営について

問 空き家再生等推進事業の積極的導入は、できないか。

答 「活用タイプ」と「除却タイプ」があります。30年度予算で改修費を計上し進めています。要望が多ければ今後対応していきます。個人・AYT・広報紙等で周知を積極的に進めていきます。又県と連携して空き家対策専門家派遣事業を取り入れていきます。

問 「町活性化拠点形成基本構想計画」の中に道の駅・レストランを含めた施設はできないか。

答 平土野地域活性化推進審議会の中でも道の駅・食堂・補助金の上乗せ等の意見が出ています。今後、関係機関と

協議していきます。

問 平成31年度以降の公営住宅の計画について。

答 「公営住宅等長寿命化計画」の修正計画では平成31年度から38年度まで建替平土野原8戸（31年）大和川8戸（32・33年）名須A4戸（34年）名須C8戸（35・36年）。新規建設前野6戸（36年）。三京2戸（33年）。町単独木造名須2戸（31年）。前里新2戸（32年）兼久B2戸（32年）個別改善塩満32戸（33・36年）。民間空き家1戸（31年）計画しています。



安心・安全なまちづくりについて

問 消防防災施設整備・減災について。

答 29年度は天城地区に防火水槽を設置。今後は、補助金交付要綱等を見ながら耐震性貯水槽をもろもろの条件をクリアしながら、水道水を使った飲料水兼用地上設置型を事業申請につなげたいと思います。

問 合併浄化槽の設置促進について。

答 平成27年度から31年度の地域計画5年間で350基の設置を予定、3年間で135基設置しています。あと2年間で残りを設置しなければなりません。AYT・集落座談会・課長会等の協力を得て推進していきます。

教育の振興について

問 各学校環境衛生検査報告者の指摘事項は、適正に対応できているか。

答 薬剤師による検査を実施しています。指摘事項に対しては、改善が出来てない所が多い。昨日も電球に対して対応してきたが、照度はほとんどの学校が改善を要しています。どういう形で増灯できるか、緊急性や安全性等を考慮し早急に対応したいと思います。



叶 忠志
議員

農政について

問 町内の鳥獣被害の状況について。

答 本町における鳥獣被害の多くは、イノシシによるサトウキビと馬鈴薯被害が主です。進入防止柵設置以降は、被害が激減し一定の効果を得ているところです。

しかしながら、平成27年度から29年度にかけて、やや被

害が増加してきています。また、カラスによる被害については、タンカンで被害が発生している状況です。

問 イノシシ侵入防護柵の保守管理の現況は、どうなっているか。

答 イノシシの進入防止柵については、平成24年度から26年度にかけて、与名間集落から西阿木名集落まで60・4km設置されています。

保守管理については、各集落の進入防止柵管理組合長（区長）と、「施設管理委託契約」を締結し、保守・点検、周辺整備等を行うこととしています。

この保守管理については、幾度かご指摘をいただいております。

今後、集落の方々とも日程等の調整を行い、年1回の点検作業と、必要に応じた修繕等を実施し、進入防止柵の機能を持続させていきます。

問 獣肉加工施設がオープンしたが、加工処理状況はどうか。

答 本年3月に完成した天城町獣肉処理施設「山猪（やましし）工房あまぎ」は、5月18日にオープンしました。

解体及び加工処理については、4月12日から開始し、5月末までの処理頭数は25頭、うち23頭は買い取り、2頭は解体処理のみとなっています。

今後、一般家庭や飲食店でイノシシ肉が活用されるよう、PRやジビエの研究、加工技術の向上など、普及に向けた取り組みを強化していきます。



空家対策について

問 現在の空家・危険家屋に対する行政の対応はどうなっているか。

答 空き家バンクへ登録された物件については、家屋の改修・修繕に対して、本年度より町単独事業として、天城町^{※1}空き家改修費補助金を交付します。

危険家屋については、天城町空家等対策の推進に関する条例に基づき、隣家に危険を及ぼす恐れのある所有者等に、指導書を発送しています。

ふるさと納税について

問 ふるさと納税に対する行政の取組状況は、どうなっているか。

答 4月から担当課が総務課から企画課に変わりました。インターネットからの申込みは「ふるさとチョイス」に加え、2月から「楽天」のサイ

トからでもできるようになりました。また、返礼品の数も徐々に増え、現在は合計74の返礼品を掲載しています。

今年度は寄附の目的となる魅力ある返礼品をさらに増やしていくことや、寄附者が応援したくなるような寄附の活用についても検討したいと思っています。



島 和也
議員

農政について

問 農繁期における農協選果場及び南西糖業工場や各種収穫作業の人材不足についてどの様に考えているか。

答 今季の農繁期においては人手が確保出来ずに大変な苦勞をして乗り切ったようでございます。今後の人手不足は深刻な問題だと予測出来ます

※1 空き家対策事業（町単独事業）・・・町内の空き家の利活用を促進し活用するため、改修・修繕等に対して補助を行う。
○補助要件 100万円以上の工事とし、補助対象工事費の1/2を補助。上限100万（予定件数5件）。

ので早速に県や各種団体と協議を重ね、次期農繁期までは何らかの対策が講じられる様に進めます。

問 園芸作物（グリーンピース、にんにく、玉ねぎ）を生産拡大する計画は無いか。特にグリーンピースの産地化について。

答 露地野菜の課題は馬鈴薯に次ぐ品目の定着ですが、ここ数年は実えんどうやニンニク、玉ねぎの栽培が増えてます。実えんどうについては年々栽培面積が増加してますので今後も農家の生産意欲を応援し資材の援助等をしていきます。



公園整備について

問 湾屋公園内の遊具や休憩場所を増設して町民の憩いの場を拡大する計画はないか。

答 公園施設長寿命化対策事業では遊具の更新は可能であります。休憩施設や遊具の増設は計画に有りませんが何かの対応が出来ないか検討していきます。

問 平土野のポケット公園に駐車スペースを整備する計画はないか。

答 現在のところ駐車スペースの整備は考えておりませんが、観光客や利用者の利便性向上を図る為に、今後平土野地区活性化協議会等で検討していきます。

建設行政について

問 西阿木名集落の下原線は側溝が無いので西阿木名小中学校のプール水を町道に排出しているが側溝の計画はないか。

答 流末に排水施設整備がなされて無い為に現在計画は無いですが流末の地権者と協議をして解決出来るように協議していきます。



柏木 辰二
議員

教育行政について

問 山海留学の取組みは、どのようになっているか。

答 平成29年4月に天城町山海留学制度実施要綱が改定され、山海留学制度の指定校が4校となりました。現在地域おこし協力隊を中心に、山海留学制度の緊急促進の一つとして、校区実施委員会の立ち上げを支援するため、指定校が所在する地域の区長と情報共有を図り、定期的に山海留学について協議しています。

問 徳之島高校へ通学する生徒に対し、バスの運行時間変更を含めた対応がはかれな

か。

答 バス路線の運行時間については、昨年11月に実施した徳之島地域バス対策協議会担当者会において、運行便の変更・臨時的運行についての協議を行いました。今後の対応策として、徳之島地域バス対策協議会総会等で運行時間変更等についての協議を進めながら検討していきます。

建設行政について

問 兼久・当部線改良工事の進捗状況は、どのようになっているのか。

答 兼久・当部線の改良については、工事の中断した経緯や現況を調査し、出来ることから処理をしていきたいと思

問 修繕が必要な歩道が見受けられるが、どのような対応・計画を考えているのか。

答 歩道内の街路樹が大きくなり、木の根で歩道面に凹凸（おうとつ）が出来ている箇所が見受けられる。今後、導入できる事業等がないのか確認しながら、その箇所ごとに補修などで対処していきたいと考えています。



環境整備について

問 平土野地区浄化槽整備（市町村設置型）の計画はどのようなになっているのか。

答 浄化槽整備事業の市町村設置型については、事業導入に向けて県生活排水対策室の職員に平土野地区・兼久地区の現地を確認してもらったところであるが、平土野地区については、スペーソの問題、道幅が狭いなど課題もあります。今後、課題解決に向けて県と協議しながら進めていきたいと思っています。

問 平土野漁港の再整備を計画する考えはないか。

答 通称平土野漁港と呼ばれているところは、平土野港の港湾施設の一部であり、鹿児島県管理の施設です。物揚場の一部舗装が行われているが、施設は老朽化が著しいところがあるので、関係課と連携を図り、県と協議していきたいです。

問 危険家屋等の取り壊しに、助成を含めた対応がはかれるか。

答 危険家屋の取り壊し助成については、町審議会において協議・検証を行いながら前向きに検討していきます。



秋田 浩平
議員

農政について

問 畑作物について。（さとうきび・馬鈴薯）

答 昨年期の本町におけるサトウキビの生産量は7万6千6トン、単収は6・3トンで平年作以上の収量でした。しかしながら、甘蔗糖度が12・28度と基準糖度帯（13・1～14・3）にも満たない低糖度で、農家手取額も2千円ほど安い、2万216円という状況であったため、自民党畑作物等対策委員会の国会議員の先生方が徳之島を視察し、補正予算の追加とサ

トウキビ増産基金の発動がなされたところです。近日中に事業を展開し、次年産の増産に繋がりたいと考えています。

また、馬鈴薯については約7千3百トンと、過去最高の生産量ではありましたが、販売価格がキロ129円と前年度より半減し、終盤には農家手取額が30円まで暴落しました。農業経営においては、大変厳しい結果であったと認識しています。

問 鳥獣被害対策について。

答 本町の鳥獣被害対策については、アニマルネットや電気柵の導入助成に加え、進入防止柵の整備も行ってきました。また、猟友会による捕獲や「イノシシ囲いわな」や「カラス用捕獲箱」を設置し、被害対策と捕獲対策の両面から、作物の被害軽減に努めているところです。

問 畑かん事業の進捗状況について。

答 現在、兼久・大津川・瀬滝地区と第二大和城地区を中心に、同意及び施工を進めているところであり、他地区についても状況に合わせて対応しています。

また、圃場内施工に関しては、申込者の状況を勘案しながら行っています。全地区が計画年度までに事業完了できるように今後も取り組んでいきます。



観光行政について

問 世界自然遺産登録について。

答 世界自然遺産登録については、国際自然保護連合（IUCN）より「世界遺産一覧表への記載を延期することが適当」との勧告が示されました。

今後は、確実かつ早期の登録を目指すため、勧告結果に基づいた推薦内容の修正を行い、推薦書の再提出を行うこととなります。町としても、国・県・関係自治体等との連携をさらに強め、登録に向けた取り組みを引き続き行っていく予定です。



久田 高志
議員

農政について

問 畜産振興（粗飼料対策）について、人手不足による「Aコントラクター（ラップサイレージ受託組織）」が休止状態となり、畜産農家が困惑している。早急な対策が必要だと考えるか？

答 農協のラップサイレージ受託作業の休止は、非常に大きな問題で、大変危惧するところではあります。^{※2} クラスタ協議会では設置されているので協議会を開催して、問題点の共有や課題解決に向けた話し合いを行っていきます。

町全体を網羅した組織づくりが必要と考えます。喫緊の課題として今期のラップサイレージ作業については早急な解決策を見いだします。



教育行政について

問 学校教育環境整備（学力向上対策、各種検定料の助成）及び体育設備設置状況についてどのように考えているか。

答 学力向上対策として昨年度『自主的学び』応援事業の規定を作り進めています。英語検定、漢字検定、数学検定は現在、保護者負担で実施しています。今後、関係機関と連携を図り、教育委員会で協議し何らかの対応が必要と考えています。体育設備に関しては早急に対応していきます。

建設行政について

問 各公園の遊具設置状況及び今後の整備計画（室内遊具含む）について。

答 現在、総合運動公園は遊具更新事業を実施しています。湾屋公園、西郷公園についても更新は可能と考えています。遊具の増設、室内遊具設置については、担当部署で協議し、ふるさと納税（子育て支援）予算範囲内で充当できれば可能と考えています。

※2 クラスタ協議会（畜産）とは・・・畜産関係者と畜産関係機関がクラスター（ぶどうの房）のように一体的に集結することで、畜産の収益性を地域全体で向上させるために取り組むこと。



問 町建設工事入札参加資格審査について、周知もなく新基準が設けられたようだが、準備、努力期間等は考えられなかったか、また町独自の審査基準（〇基準運用含む）の創設について（基準額見直し含む）どのように考えているか。

答 県の基準に大変重みを置いてしまった、両方（県、町）のバランスを取るべきでした。充分でなかったと思うているが決定事項なので2年間は現行実施でいきます。

〇基準運用は大変大事であり即検討します。金額見直しについては委員会を開催し協議すれば可能と考えます。次回見直し時までには本町の独自審査基準を創設できるよう努力します。



松山善太郎
議員

建設行政について

問 公営住宅長寿命化計画の見直しについて。

答 『公営住宅等長寿命化計画』の修正計画では、平成31年度から平成38年度まで、公営住宅建設を36戸、単独住宅6戸、個別改善32戸、空き家再生等推進事業『活用タイプ』1戸を計画しています。

問 住宅使用料の算定について。

答 住宅使用料の算定については、公営住宅の場合、『公営住宅法施行令』及び『天城町町営住宅設置及び管理条例』に基づき算定しています。単独住宅の場合は、近隣の公営住宅及び民間住宅の住宅使用料とのバランスを考え決定しています。

財務行政について

問 財産（土地）の処分は、適正に行われているか。

答 財産（土地）の処分については、10名の町有地払下げ、貸付等審議委員会で審議し、適正に処分がなされています。

問 各課の公用車の借上げはどうなったか。

答 各課の公用車の借上げ状況は、平成30年度当初予算においては、6台の予算を計上しています。

教育行政について

問 小規模校の活性化（存続）をどのように考えているか。

答 小規模校の活性化については、山海留学制度の実施委員会の立ち上げや、実施に伴う地域の積極的な取り組みなどを支援し、存続に繋げて行きたいと思っています。

交通不便地域の対策について

問 当部・三京を含む南部地域が特に不便と考えるが、対策はないか。

答 南部方面への交通対策について、関係機関・バス対策担当者等で議論を行っているところです。今後の対応として、南部方面へのデマンドバスの運行について協議を進めていきます。



第 61 回 奄美群島市町村議会議員大会

平成 30 年 5 月 16 日（水）、徳之島町農協会館で第 61 回奄美群島市町村議会議員大会が開催されました。奄美群島各市町村議員をはじめ、永井章義・向井俊夫・禧久伸一郎鹿児島県議会議員などが来賓として出席されました。

議事において、最初に徳之島 3 カ町の提出議題「平土野港多機能港湾新設整備について」を秋田浩平議員が提案理由説明されました。このほか、今年度末で法期限切れとなる奄美群島振興開発特別措置法の延長など議題 7 件、登録延期が勧告された奄美・沖縄の世界自然遺産登録の推進など決議 18 件が採択されました。

大会終了後に行われた議員研修では、元農業・食品産業技術総合研究機構中央農業研究センター専門員の守屋成一氏により「特殊病害虫（アリモドキゾウムシ）について」と題して講演が行われました。



会場：JA徳之島



大島郡町村議会議長会 会長あいさつ



秋田議員による提出議題朗読



講師：守屋 成一氏



会場の様子

平成30年度建設経済厚生常任委員会所管事務調査

視察年月日：平成30年5月9日（水）～12日（土）

視察者：秋田委員・叶委員・柏井委員・柏木委員・松山委員・上岡委員・昇委員

（随行者）宇都書記



道の駅むなかた

去る5月9日（水）から12日（土）の日程で福岡県宗像市の「道の駅 むなかた」及び山口県周防大島町の行政視察を行いました。

最初に訪れた福岡県宗像市では、本町のにぎわいの創出や地域ブランド、地産地消などの重要性を再考するため、九州一の売上高を誇る施設「道の駅むなかた」を訪問しました。そこで、施設の魅力と仕組みについて調査し、視察を行いました。

次に訪れた山口県周防大島では、全国的に課題となっている農家の担い手育成対策や耕作放棄地の解消及び発生防止対策について調査を行いました。

「周防大島担い手支援センター」を拠点とした新規就農者の確保や遊休農地の活用について説明を受けました。

視察内容

①九州一の売上高を誇る「道の駅むなかた」

平成20年4月に開業した福岡県宗像市の「道の駅むなかた」は、福岡市と北九州市を結ぶ国道495号の海岸線にあります。敷地面積13,691㎡の中に物産直売所、レストラン、情報提供施設、パン工房、アンテナショップなどが併設する県内最大規模の施設です。



周防大島町久賀支所内にて



館内の様子

当初は、宗像農業協同組合・宗像市商工会・宗像漁業協同組合・鐘崎漁業協同組合・宗像観光協会が、資本金400万円で「株式会社まちづくり宗像」を開業し、後に宗像市も100万円出資し参加。

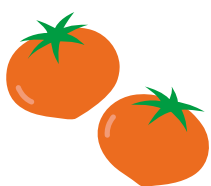
平成27年4月に現在の社名へと変更した施設は、特に物産直売所では近隣の玄界灘でもまれた鮮魚がずらりと並ぶ水産物コーナーが売り場面積の3分の1を占める人気のコーナーとなっています。また、産地直送の野菜や、多種多様な加工品の品揃えも充実して県内外から多くの買い物客でにぎわっていました。

ここで出品される鮮魚や農産物などは、出品資格についての審査基準が設けられており、出品できる対象者は、①宗像市または隣接の福津市に住所あるいは事務所を有する者、②国税及び地方税の滞納

がない者、③市町村税の滞納がないものとされ、出品物は宗像市、福津市で生産・水揚げ・加工されたものに限定されていました。

また、館内に設けられているレストラン「おふくろ食堂はまゆう」では、宗像地域の特長を活かした郷土色豊かな漁師料理・農家料理を中心にメニューを構成し、地元食材にこだわった料理を堪能できる施設となっていました。

本町においても、今後は世界自然遺産登録の実現などで交流人口の増加が期待されることから、周辺観光施設との連携拠点を担う「地域情報発信基地」として、本町の特徴を活かした複合型施設の必要性を感じました。



地場産の生鮮品

②担い手の確保・経営支援について（山口県周防大島町）

「周防大島町」は、山口県東南部の瀬戸内海に位置し、北は広島県、南は愛媛県の島嶼部に隣接しており淡路島、小豆島に次ぐ瀬戸内海で3番目に大きな島です。県本土と大島大橋によってつながれており、気候は、四季を通じて比較的温暖で、平均気温も15度を超えています。

平成16年10月1日に久賀町、大島町、東和町、橘町の4つの町が合併し、「周防大島町」が誕生。農業生産のほとんどはみかんで占められているが、近年まで価格の低迷や農業従事者の高齢化、後継者不足などにより生産量が減少するなどの課題をかかえていました。

このことから、平成27年6月に「大島かんきつ産地継承夢プラン」を策定し農業基盤整備と経営基盤の強化を図り

ながら高品質で低コストの柑橘栽培を開始。

さらに、新規就農の受け入れ体制づくり、他作物の導入による複合経営の推進や観光農業、新しい販売体制づくりなどの事業展開を図っていました。

特に平成18年に周防大島町とJAが協力して設立した「周防大島担い手支援センター」では、町職員と農協職員を事務所に配置し、営農塾の開催、新規就農者・援農希望者の受入支援体制の強化、農地流動化による荒廃園地の抑制、担い手関連施策の一体的な推進を図るなど、その実務機能を果たす拠点としての強化が図られていました。

また、使わなくなった農地の情報を登録し、新規就農や規模拡大を志向する農業者などに貸し出す「農地銀行」の実施や、使わなくなった農機具などを希望する農業者に提

供する「農機具バンク」制度を実施するなど、様々な面で農業移住者の受け入れ体制が整っていました。

本町でも新規就農者を確保するためには、安心して農業



現場説明の様子

生活を継続できるような特徴のある営農が不可欠であると考えます。今後の事業展開に向け関連機関と連携を取り積極的な取り組みを実施すべきであると感じました。



平成 30 年 6 月定例会

番号	件名	結果
報告第 1 号	平成 29 年度天城町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	
報告第 2 号	平成 29 年度天城町の債権の管理に関する条例に基づく不納欠損処分の報告について	
議案第 33 号	天城町義務教育就学児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 34 号	天城町乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 35 号	天城町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	原案可決
議案第 36 号	天城町肉用牛特別導入事業基金条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 37 号	天城町獣肉処理施設の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決
議案第 38 号	天城町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
議案第 39 号	天城町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
議案第 40 号	天城町教育長の選任の同意について	同意
議案第 41 号	平成 30 年度天城町一般会計歳入歳出予算補正（第 1 号）の専決処分の承認について	承認
議案第 42 号	平成 30 年度天城町一般会計歳入歳出予算補正（第 2 号）について	原案可決
議案第 43 号	平成 30 年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出予算補正（第 1 号）について	原案可決
	徳之島愛ランド広域連合議会議員の選挙について	可決
陳情第 2 号	バス通学生への通学費の助成について	継続
陳情第 4 号	「生産性向上特別措置法」に基づく導入促進基本計画の策定及び固定資産税の特例措置に関する要望について	採択
陳情第 5 号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元をはかるための、2019 年度政府予算に係る意見書採択の要請について	採択
	議会運営委員会の閉会中の所掌事務の継続調査について	可決
	常任委員会の閉会中の所掌事務の継続調査について	可決
意見書第 2 号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書（案）について	原案可決



春利正氏 教育長に再任

平成 30 年 6 月議会において提出された天城町教育長の任期満了による再任人事案は、全員一致で同意しました。

◆ 編集後記 ◆

盛夏の候、町民の皆様におかれましては毎日のお仕事お疲れさまでございます。

議会広報紙をお読み頂きありがとうございます。議会広報を通して議会の動きを読者の皆さんに感じてもらうには、どうしたらいいか、本誌の編集に際しては創意工夫をこらしております。出来上がった広報を眺めては、判ってもらえる内容に出来たかと反省も毎回編集委員会で議論をしながらまとめています。少しでも議会の雰囲気や伝わる議会広報を目指し、これからも研鑽して参ります。

ご意見、ご感想をお寄せ頂ければ幸いです。

議会だより編集委員

柏井 洋一